

リハビリテーション心理学プレゼミ

【科目名】リハビリテーション心理学プレゼミ		【担当教員】リハビリテーション心理学専攻 専任教員							
【授業区分】専門分野 リハビリテーション心理学	【授業コード】 6-38-2140-0-1	代表：若松直樹 (メールアドレス) wakamatsu@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 11:00～16:00 (月曜日～木曜日)							
【開講時期】2年・3年前期	【選択必修】必修								
【単位数】2単位	【コマ数】15コマ								
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・特になし。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・自らの理解と挑戦的な変化、また、医療・福祉・教育等の社会的な課題についていつも意識してください。									
【講義概要】 (目的) ・指導教員のもとでリハビリテーション心理学の学修を将来へ向けてどのように展開するか、一定のイメージを確立する。特に、「公認心理師資格」を取得する場合には大学院への進学が標準とされるため、公認心理師資格の取得目指すかどうかについて意識を確立させる。 (方法) ・ゼミナール形式：教員・ゼミ成員間のディスカッションや発表を通して将来の希望や適性、それに必要な学修の深度や進度を自覚させる。									
【一般教育目標(GIO)】 ・リハビリテーション心理学の学修を将来へどのようにつなげるかを自覚するために、自らの意欲・適性・学修の目標を自覚する。 【行動目標(SBO)】 ・自らの将来像やそれに必要な学修の水準を言語化できる。 ・公認心理師ほか、心理学関連資格について説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 ・各ゼミ担当教員の指示による。									
【参考書】 ・各ゼミ担当教員の指示による。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・グループワーク、発表、レポートなど総合評価とします。									
【達成度評価】		試験	小 テスト	レポート	成果 発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合				50				50	100点
評価 指	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・復習)	時間 (分)					
1		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
2		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
3		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
4		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
5		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
6		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
7		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
8		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
9		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
10		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
11		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
12		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
13		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
14		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						
15		ゼミナール	ゼミテーマを自らの問題として深める						

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。